機械クラブだより　－第 14 号－

2018（平成 30）年 9 月 1 日

◎　会長就任のご挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　　機械クラブ会長　M⑱　平田 明男

◎　機械工学専攻 構成表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

◎　機械工学専攻の近況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

◎　平成 29 年度総会・記念講演会 概要（平成 30 年 3 月 27 日）　・・・・・・・・・・・・・　3

◎　平成 29 年度新入会員歓迎会 開催報告（平成 30 年 3 月 27 日）　・・・・・・・・・・・　4

◎　平成 30 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告（平成 30 年 6 月 23 日）　・・　5

◎　平成 30 年度「先輩は語る」講演会 開催報告（平成 30 年 4 月 18 日）　・・・・・・・　7
　ー 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会，　学生自主活動支援金贈呈 ー

◎　クラス会 報告
● M⑧クラス会（平成 30 年 4 月 4 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

◎　第 6 回基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会(M⑬から M㉔, P①から P⑤)」
　開催報告（平成 30 年 5 月 19 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

◎　機械クラブゴルフ同好会（KTCMG）報告
● 第 170 回コンペ報告（平成 30 年 4 月 17 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
● 第 171 回コンペ報告（平成 30 年 7 月 10 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

◎　機械クラブホームページのご案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

◎　Ｅメールアドレス登録のお願い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

◎　財務部会からのお願い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

◎　お問合せについてのお願い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

平成 30 年機械クラブ年会費納入者名簿（7 月中間報告）　・・・・・・・・・・・・・・・　別冊

KTC 機関誌　単位クラブだより　掲載内容

KTC 機関誌 第 87 号 の単位クラブだよりには下記項目を掲載しておりますので、そちらもご覧下さい。

◎　「平成 29 年度 機械クラブ総会・記念講演会」 開催報告

◎　「クラブ精密 第 31 回（平成 30 年度）例会」 開催報告

◆　会長就任のご挨拶

機械クラブ会長　M⑱ 平田 明男

6 月の大阪北部地震、7 月の西日本豪雨と大災害が続き、多くの方が亡くなられました。衷心よりお悔やみ申し上げますとともに被災された皆様、地域の一日も早い復興を祈念致します。

さて、残暑厳しき折、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃は機械クラブの活動に格別のご理解とご支援を賜り篤く御礼申し上げます。

私は、3 月 27 日の機械クラブ総会にて会長を仰せつかりました 18 回卒業の平田明男です。どうかよろしくお願い致します。大阪万博が開催された 1970 年に卒業しました。その第 1 回から 55 年を経て、2025 年の第 2 回大阪万博誘致活動が官民一体となって展開されています。また、2020 年には第 1 回より 56 年を経て第 2 回の東京オリンピックが開催されようとしています。また、神戸大学創立 120 周年、工学部創設 100 周年など節目となる年も間近に迫ってまいりました。

私はこの 4 年間冨田前会長のもと総務部会長を勤めて参りました。歴代会長が唱えられてきました“活性化”は今なお重点課題であります。会員の皆様が機械クラブに目を向けていただくには何らかの“きっかけ”が必要ではないかと考えています。その一つが同期の繋がりではないでしょうか。就業年齢の高齢化に伴って初回の同窓会の開催も高齢化しているようです。卒業以来まだ一度も同窓会を開催されていないクラスは今からでも遅くありません。卒業後 5 年毎、10 年毎、還暦などの節目の年に同窓会を開催されてはいかがかと思います。そのためのお手伝いを積極的に推進して参ります。

また、機械クラブでは講演会、見学会、座談会、会員親睦会などの各種行事を年数回開催していますので、是非一度ご参加いただき実感を味わっていただくのも一つの“きっかけ”になるのではないでしょうか。幸い関係の方々のご尽力で広報関係が充実して参りました。これら行事の概要は、機械クラブホームページや本機械クラブだよりに掲載されていますので是非ご覧戴きたいと思います。

最後になりましたが、機械クラブの活動を継続するためには原資となる年会費（2000 円）及びご寄付が必須であります。皆様方の絶大なるご協力をお待ちしています。

◆　機械工学専攻 構成表

（2018 年 4 月 1 日現在）

	教育・研究分野	教　授	准教授	助教・助手	技術職員，事務職員など	
熱流体エネルギー	応用流体工学（MH-1）		片岡 武		芳田 直征	後藤 佳苗 三宅 真子
	混相熱流体工学（MH-2）					
	エネルギー変換工学（MH-3）	浅野 等	村川 英樹	杉本 勝美		
	エネルギー環境工学（MH-4）	冨山 明男	細川 茂雄 林 公祐			
材料物理	固体力学（MM-1）	阪上 隆英	塩澤 大輝		古宇田 由夫 中辻 竜也	
	破壊制御学（MM-2）	中井 善一	田中 拓	横田 久美子		
	材料物性学（MM-3）	向井 敏司	田川 雅人	池尾 直子		
	表面・界面工学（MM-4）	田中 克志	藤居 義和 長谷部 忠司	寺本 武司		
設計生産	複雑系機械工学（MA-1）	横小路 泰義	田﨑 勇一		片山 雷太	
	機械ダイナミックス（MA-2）	神野 伊策	肥田 博隆			
	コンピューター統合生産工学（MA-3）	白瀬 敬一	佐藤 隆太	西田 勇		
	知能システム創成学（MA-4）	磯野 吉正	菅野 公二	上杉 晃生		
	創造設計工学（MA-5）		妻屋 彰	山田 香織		

今後、役員の皆様、会員の皆様の強力なご支援を頂き、機械クラブを継承・発展させて頂く所存でありますので忌憚のないご意見とご提案をお願い致しますとともに、一層のご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

◆ 機械工学専攻の近況

機械クラブ総会（平成 30 年 3 月 27 日）において、田中専攻長より機械工学専攻の近況について報告いただいた。

✓機械工学専攻の教員の異動と組織について
3 月末で田浦俊春教授、竹中信幸教授、山根隆志教授が退職。2 月末で菊池将一助教が静岡大准教授として転出。4 月 1 日付で浅野等先生が教授に、村川英樹先生が准教授に昇任。知能システム創成学研究分野助手に上杉晃生先生が着任。研究基盤センター改組に伴い、藤居義和先生が表面・界面工学研究分野に異動。教育研究分野が 12 となり、教員 31 名（教授 10 名、准教授 14 名、助教 6 名、助手 1 名）に減少。

✓学生定員 103 名。今年の入試倍率は 1.96 倍と 2 倍を切る状況。志願者増加のため研究室紹介を充実し、学生への PR 強化を図る。

✓研究分野での新たな取り組み
工学研究科専攻横断プログラムの設立：
複雑熱流体工学研究センター
医療デバイス創製医工学研究センター（「使われる医療デバイス創製への結実」を目標）

✓2 学期 4 クォーター制
平成30年4月より3年生までは完全4Q制。2 年生の第 2Q は必修科目を開講しないギャップターム）とする。留学しやすい環境づくりが狙い。今年度実績はグローバル・チャレンジ・プログラム（GCP）への参画 1 名、自主的な語学留学 13 名、国内インターンシップ 21 名、KTC インターンシップ 3 名。学生のレポートからの推測ではあるが、必ずしも学生全員が充実した時間を過ごしているわけではない様子。

✓学生の進路：学部卒業生 108 名（内進学 74 名）、大学院修了生 75 名　内進学 3 名。

✓工学部共有として 3D プリンタ 10 台導入。

✓平成 29 年 4 月から 12 月末までの学生受賞 17 名。学生活動の報告、支援依頼があった。

✓学生の自主活動支援への感謝が述べられた。
学生フォーミュラ、レスキューロボット、いずれも昨年の成績は芳しくなかったが今年の健闘を期待している。

会場からの意見として、國光秀昭氏より、「課題解決型アクティブラーニング」への参加奨励の希望が出された。

◆ 平成 29 年度総会・記念講演会 概要

開催日時：平成 30 年 3 月 27 日（火）17:30～18:30
開催場所：兵庫県私学会館
講師：ダイキン工業（株）常務専任役員
テクノロジー・イノベーションセンター
副センター長
稲塚 徹 氏（M㉛）

演題：空調の技術革新－これまで、いま、これから
出席者：61 名
講演概要：

ダイキン工業の紹介

創業 1924 年、設立 1934 年、大阪金属工業からダイキン工業に社名変更 1963 年。

従業員 67,000 名でグローバル化を進めている。売上20,440億円の内、空調が90%（18,354億円）。その他、フッ素関連(1,568 億円）や油圧・特機・ＩＴ（518 億円）の技術分野がある。空調機は小型から大型までのラインアップを備え、冷媒から要素部品まで全て社内調達できる唯一の会社である。

FUSION と呼ばれる 5 年の中期計画をもとに活動しており、2015 年目標だった、FUSION15 では、売上 2 兆円の計画を達成し、利益率も 10 % を超えた。

空調の技術革新－これまで

ヒートポンプは熱効率の高い技術

圧縮機動力 1 に対して外気から 6 の熱量を得て、7 の熱量を室内に供給できる。

欧州では、ヒートポンプが CO_2 削減のキー技術ととらえて、2050 年にはヒートポンプで 12.5 G-ton の CO_2 排出量削減を計画している。

ハードウエアの技術開発は限界に近づきつつある。①圧縮機：スイング型、スクロール型などの種類があり、部品加工精度や形状の改良な

どを行ってきており、機械損失、漏れなども抑制でき、トータル 80 %以上の効率を得ている。②電動機：リラクタンス DC(IPM)モータの高度化で、低回転数でも効率が向上し 90～95 %の効率となっている。③熱交換器：集積度（コンパクト化）が進み、アルミマイクロチャンネル型熱交換器を採用し始めている。④ファン：形状開発が進んでいる。2 次元翼→3 次元翼→ディンプル型・・・→エアロウエーブ型と進化し、騒音も抑制できている。

これらの技術開発で、1991 年の 4 kW 空調機では、消費電力を 67 %削減できている。2002 年に改良が進んだが、COP も今は頭打ちの状態。冷房の場合、効率を上げるには蒸発温度を高くすれば良いが、除湿量が低下してしまう。さらなる省エネに向けては空調システム全体で開発を進める必要がある。

いま

この解決として、除湿機能を分ける潜顕分離空調（潜熱と顕熱をそれぞれコントロールする）を開発している。除湿機能としては超コンパクト調湿外気処理機（DESICA と呼ぶ）を開発した。これは、デシカントサイクルとヒートポンプサイクルをハイブリッドしたもの。特徴は、熱交換器のアルミフィンに吸湿剤をコーティングしていることである。湿度をとるときに吸着熱が発生するが蒸発器とすることで、ヒートポンプの効率が良くなる。吸湿剤を再生するときは凝縮器として加熱する。NEDO プロジェクトにおいて名古屋大学と共同で実証実験を行った。空調機能は問題なく、室内の人のモニター結果も良好で、70 %省エネを実証できた。

これから

時代の流れとして ZEB（Net Zero Energy Building）が求められている。発生する電力と消費する電力を相殺することで達成される。2030 年には 35 兆円のマーケットになる、とも言われている。

ダイキン工業では 2015 年に竣工したテクノロジー・イノベーションセンターにおいて、n-ZEB (nearly ZEB) を達成している。特徴（省エネの工夫）は、①潜顕分離空調、②追尾架台太陽光発電、③最適制御、④ヒートルーピング、⑤外皮性能向上である。実測で 81 %の省エネ、平均でも 70 %省エネできている。LEED FACTS で platinum を受賞。

海外でもドイツでの実証や英国での 560 台ヒートポンプ制御実験を行った。電力電源は、風力発電や太陽光などが多くなり、不安定になっている。そのため、デマンドコントロール（需要者側の消費電力制御）が重要になっている。560 台ヒートポンプ制御実験では、232 kW の低減を 1～2 時間キープできることが実証された。これは電力価格低減（価格が高いときの消費抑制）にもつながる技術と期待している。

アジア地域においては、PM2.5 や銅汚染有害物質など、空気汚染が進んでおり、この対策は今後の空調の重要な技術開発対象になっている。

質疑応答

質問：圧縮式空調機の効率化が進んでいることはよくわかった。吸収式空調機との棲み分けを知りたい。

回答：吸収式は取り扱いが煩雑で、効率の改善が難しい。一方、ターボ圧縮機の効率改善がすすんでおり、吸収式冷凍機からターボ冷凍機に置き換わっているのが実態と考えている。

◆ 平成 29 年度「新入会員歓迎会」報告

開催日： 平成 30 年 3 月 27 日（火）

開催場所：兵庫県私学会館

本年度も例年通り、この日卒業したばかりの卒業生、これから社会人となる修了生諸君を迎えて新入会員歓迎会が催された。先立って行われた総会で冨田前会長から平田会長へ、平田前総務部会長から谷総務部会長へバトンが渡され、本会は谷総務部会長の司会のもと進められた。平田会長からの新入会員を歓迎する挨拶につづき、田中専攻長からお話しを頂き、そのまま乾杯へと進んだ。宴の半ばに表彰の場が設けられ、以下の学生が表彰された。

KTC 理事長賞

漆谷 建治（大学院博士課程前期課程 2 年）

学業における顕著な活躍

機械クラブ会長賞

永井 紳一朗（学部 4 年）

学生フォーミュラにおける顕著な活躍

機械クラブ国際活動奨励賞

橋田 昌明（大学院博士課程後期課程 1 年）
9th World Conference on Experimental Heat Transfer, Fluid Mechanics and Thermodynamics, 2017 年 6 月, Iguazu Falls, Brazil

平井 大志（大学院博士課程前期課程 2 年）
ASME 2017, 12th International Manufacturing Science and Engineering Conference
2017 年 6 月, Los Angeles, CA, USA

西 崇仁（大学院博士課程前期課程 2 年）
C-MET(Center for Materials for Electronics Technology) での研究, 2017 年 10 月, India

宮﨑 猛（大学院博士課程前期課程 2 年）
International Conference on Power Engineering, 2017 年 6 月, Charlotte, NC, USA

西脇 大維（大学院博士課程前期課程 2 年）
MicroTAS 2017
2017 年 10 月, Savannah, GA, USA

合田 頼人（大学院博士課程前期課程 1 年）
ANS Winter Meeting 2017
2017 年 11 月, Washington D.C., USA

冨田前会長から受賞者に賞状と副賞が授与された。続いて恒例の校歌合唱が行われた。大先輩が神戸高等工業学校校歌を、さらに数十名の卒業・修了生が加わって神戸大学学歌を大合唱した。（斉唱の様子［動画］は機械クラブホームページでご覧頂けます。）

最後に、冨田前会長から新入会員へのお言葉をいただき会は締めくくられた。

(左から) 漆谷, 永井, 橋田, 平井, 冨田前会長, 浅野(代理), 西, 西脇, 合田

冨田会長と学生受賞者

◆ 平成 30 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告

M⑱ 谷民雄

開催日時: 平成 30 年 6 月 23 日（土）10:00～12:00
開催場所：工学部 C4-402 会議室
出席者：20 名
議事概要：

１．会長挨拶

本日はご多用のところ本会にご出席頂きまことにありがとうございます。また、日頃の機械クラブの運営に当たりご協力いただき感謝申し上げます。

まず最初に今週月曜日、6 月 18 日（月）に発生した大阪北部地震で亡くなられた 4 名の方に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様の一日も早い復興を祈念致します。

さて、今回の理事・代表会は会長就任後初めての会でありますので所信を述べたいと思います。

現在の機械クラブの課題は「活性化」であり、歴代の会長が唱えて来られましたが、現状は皆様よくご承知の通り十分とは言えない状況であります。この状況を打破するため各部会長の皆様及び部会員の皆さまと一丸となって対処していきたいと思っています。

１．これから審議していただきます各部会の行事に於きまして「参加してよかった、次回も是非参加したい」と思っていただけるような企画立案をお願いしたいと思います。併せて、他の部会が担当する行事への参加呼び掛けを是非お願いします。いわゆるリピーターを増やしていきたいと考えています。

２.「若手の活性化」が叫ばれてきました。まず、先輩諸氏が実行されてきました同期の繋がりが重要と考えています。「同窓会の開催を支援」し、そこから前後の回生への拡大が自然ではないかと考えております。同窓会を開催されましたら機械クラブ行事への参加を薦めていただければと思います。

３．まだ正式ではありませんが、10 月 27 日(土)の第 13 回ホームカミングデイに於きまして、学部企画「親と子の理科工作教室」の企画が進んでいます。小学生とその親御さんを対象としたもので、機械学会関西支部シニア会のご協力を得て実施する予定で新しい試みとして機械クラ

ブとしても協力していきたいと考えています。

最後になりましたが、会の運営の原資として年会費、ご寄付は必須であります。今後の皆様の変わらぬご協力をお願い致しますとともに、周辺の方へのご協力の呼びかけをお願い致します。

以上簡単ではございますが、本日は真摯な討議をお願いして会長挨拶とさせていただきます。

２．議事

2-1 平成 30 年度各部会推進状況報告

（資料にもとづき各部会長、代行者より報告）

(1) 総務・HP　学生の自主活動に対する支援金を 4 月 18 日に開催された平成 30 年度「先輩は語る」講演会後に平田会長より贈呈した。両チームの健闘を祈る。

(2) 財務　会費納入数は 6 月 11 日現在 437 名で納入は低調です。ご出席の皆様には近くの方への呼びかけをお願いする。

(3) 機関誌　KTC 機関誌 87 号および「機械クラブだより」第 14 号（平成 30 年 9 月発行）の編集。

(4) 講演会　「先輩は語る」4 月 18 日(水)実施。DMG 森精機　井宮和寛氏（演題：工作機械と機械設計)、同時開催：国際活動報告：橋田昌明君（D2)、合田頼人君（M2)。

西脇大維君、西崇仁君、平井大志君、宮﨑猛君の 4 名は卒業後で代行報告のみ。

(5) 見学会　今年度見学会について部会提案通り、9 月 21 日(金）午後　ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンターを見学予定。8 月 1 日より 40 名募集中。

(6) 会員親睦　第 170 回：4 月 17 日(火）東条の森 CC・宇城コース、第 171 回：7 月 10 日(火）東条の森 CC・大蔵コースにて実施

(7) 座談会　第 6 回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会（M⑬回生から M㉔・P⑤回生）を 5 月 19 日 13 時より工学部本館２F 大会議室で実施。当該回生出席者 12 名、座談会後懇親会を実施した。

(8) クラブ精密　6 月 15 日(金)第 31 回例会を開催した。

(9) 東京支部　第 1 回幹事会 4 月 13 日、第 2 回幹事会 5 月 11 日に実施。

東京支部総会：7 月 26 日(木)・講演会講師浅野等教授で実施の予定。

見学会：9 月 8 日(土)ヤマト運輸羽田クロノゲートの予定（KTC 東京支部と共同開催)。多数の参加をお願いします。

(10) 会員数：卒業生総数 7879 名、

会員数 6214 名、物故者 1685 名

昨年総会以降 16 名の方が逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

2-2 審議事項

(1) M⑩尾本一毅氏より健康上の理由により理事退任の申し出があり承認された。

(2) 予備費の支出について以下の提案があり全会一致で承認された。

見学会部会：交通費補助 3 万円、

東京支部：総会への神戸大学教員旅費 4 万円

３．KTC の近況

(1) 平成 30 年度事業計画案、予算案が提示了承された。収入：30 百万円、支出：30 百万円

(後列左から) M㊱細川, M(53)伊藤, P⑥井宮, M⑪赤川, M⑩宇田, M㉑玉屋, M⑨松本, M⑯冨田, M⑱副島, M⑯大和 M⑱谷, M㉚尾野

(前列左から) M⑫藪, M⑫西下, M⑨永島, M⑱平田, M②杉浦, P3 辻, M①山村

平成 30 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会　集合写真　（撮影：田中克志先生）

大学の変革に合わせて活動・援助内容を見直す。(フォーミュラーカー、レスキューロボ等、学生自主活動支援、学生表彰の他)
学術交流外国学生受入増、海外インターンシップ学生派遣の経費援助を増大。

(2) 平成 30 年度定時総会 5 月 17 日（木）開催、講演会「ロボット革命」
(3) 代議員選挙の予定:第 5 回代議委員選挙 2019 年 1 月上旬告知の予定 (機械クラブ代議員数：8 名＋補欠 2 名)
(4) 就職ガイダンス「キラリと光る優良企業」149 社参加、学生参加者：1379 名
(5) (株)科学技術アントレーナーシップ（略称 STE 社）の設立の支援
(6) 入学予定者・保護者向け学生生活オリエンテーションを開催（3 月）

４．機械工学専攻の近況

田中専攻長より学科構成、教職員の異動、今春卒業・修了生 の進路、クォーター制の進捗状況／ギャップタームの昨年度の実績と今年度の取組についてご説明いただいた。

◆ 平成 30 年度「先輩は語る」講演会
ー 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会，学生自主活動支援金贈呈 ー

講演会部会長　白瀬 敬一　M㉚
西田　勇　M(56)

開催日時：平成 30 年 4 月 18 日(水) 8:50～10:20
開催場所：神戸大学百年記念館　六甲ホール
司　　会：白瀬 敬一 教授

◎ 「先輩は語る」講演会

講師：DMG 森精機(株)
井宮 和寛 氏（M(59)）
演題：工作機械と機械設計
講演内容：

講演の初めに井宮氏のご略歴が紹介された。井宮氏は現在、DMG 森精機(株) 製造・開発本部にて、工作機械の設計業務に携わっていることが紹介された。続けて、工作機械やその周辺装置に関する説明をいただいた。また、工作機械の用途について、我々の身の回りの製品を例にご紹介いただいた。井宮氏が所属する製造・開発本部では、主に工作機械の設計から製造、製造後のユーザへの据付までを携わっているとのことである。

次に、設計業務について説明された。設計とは単に部品の形を考えるだけではなく、ユーザの調査から始まり、部品の手配、試作、量産を経てユーザへの据付までの工作機械の開発の上流から下流までを携わっている。また、設計には新規設計、標準設計、特別設計があるが、工作機械の設計では特別設計が多く、井宮氏も特別設計に主に携わっている。特別設計では、カスタマイズのための設計であるため、設計の自由度が高い。自由度が高いということは難易度も高くなるとの説明をいただいた。

最後に、後輩の 1 回生に向けてのメッセージをお話しいただいた。技術者として重要なことは専門性とコミュニケーション力であることを強調された。日頃の授業では何に役立つのだろうかと疑問に思うこともあるかもしれないが、内容ではなくとも習ったということの記憶や専門用語を知っているというだけで、わからないことを調べることができるので、日頃の授業を大切にしてほしいと伝えられた。また、業務中に海外の部門の人と英語でやりとりすることは日常茶飯事であるため、英語でのコミュニケーションは必須であることが伝えられた。

ご講演の後には、学生から大学での勉強において一番役に立ったことは何かについての質問があった。回答は研究活動が最も役に立ったとのことだった。研究を進めていく過程を身に着けたことが非常に役に立ったとのことだった。また、学生から社会人になって変わったことは何かとの質問に対して、学生はまとまった時間をとれるが、社会人にはまとまった自由な時間をとることができないため、やりたいこと（特に、留学など）は学生の間にやっておくべきとの回答があった。

本講演が学生に大変刺激を与えたものだったに違いない。

◎ 機械クラブ国際活動奨励賞報告会

平成 29 年度受賞者（所属学年は受賞当時）
橋田 昌明（大学院博士課程後期課程 1 年）
合田 頼人（大学院博士課程前期課程 1 年）

西脇 大維（大学院博士課程前期課程 2 年）
西　崇仁（大学院博士課程前期課程 2 年）
平井 大志（大学院博士課程前期課程 2 年）
宮﨑　猛（大学院博士課程前期課程 2 年）

橋田君と合田君から、参加した学会の様子や学会にて発表した研究内容が紹介された。西脇君、西君、平井君、宮﨑君は、既に就職しており当日参加できなかったため、事前に提出された資料に基づき白瀬教授から紹介された。いずれの報告でも、国際会議の雰囲気を伝えるための工夫があり、また、学部・修士と努力することにより国際会議での発表のチャンスをつかめる、という点が強調されていた。学生生活を楽しみながら、弛まぬ努力を、という先輩学生たちからのメッセージであった。

橋田 君

合田 君

◎　学生自主活動支援金贈呈

機械クラブ平田会長から学生フォーミュラチーム（FORTEK）およびレスキューロボットチーム（六甲おろし）に対して、支援金が贈呈された。FORTEK 代表からは皆様の期待に応えられるよう、より一層の努力を重ねるとの抱負を語っていただいた。

◆　クラス会報告

➢　M⑧クラス会

M⑧クラス会は、卒業後まもなくから 58 年後の今年まで、講座幹事持ちまわりで毎年クラス会を開催してきました。その年の幹事担当講座の方々の企画により、時には倉敷一泊行事になったり、2 度開催された京都でのクラス会では　折角の京都開催ということで、幹事さんの骨折りとコネを生かして舞妓さんに宴席に出てもらったりもしました。

本年は、第六講座が幹事です。幹事団が横浜、鎌倉在住ということから、平成 30 年度クラス会は、4 月 4 日(水)に横浜山下公園に面した「メルパルク横浜」で開催することになりました。

クラス会メンバーは関西方面在住者が圧倒的多数を占めていますが、たまには関東へ出てくるいい機会になるのでは、と横浜開催となりました。

クラス会は 13 名の出席者で 3 時間という短い時間ではありましたが、80 歳を超えたお爺さん達が青春時代に帰った気持ちになり、大変楽しい時間を過ごすことができました。

因みに M⑧クラスは、卒業時 43 名でした。残念ながら現在までに 13 名の物故者が出、残り 30 名が現在のメンバーです。今回そのうちの 13 名が遠くは広島から、主として関西方面から遠路横浜まで集まっていただけました。なお、本席上メンバー全員が 80 歳以上になったこと、今年の担当第六講座で区切りがよいことから、講座持ち回りのフォーマルなクラス会は今年を最後とすることになりました。

しかし、関西方面で適宜有志が集まる機会は今後も継続して持つこと、クラス会終了時の会の残金約 3 万円は M⑧クラス会として神戸大学機械クラブへの寄付としようということにし、出席者の益々の健勝を祈念して平成 30 年度クラス会を終了しました。楽しかった！

(後列左から) 谷口, 西田, 桜井, 池田, 岩田, 山登, 大西(則)
(前列左から) 安井, 峰野, 清水, 井上(忠), 池淵, 元田

M⑧クラス会 集合写真

◆ 第 6 回基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会（M⑬から M㉔および P①から P⑤）」報告

実行委員長　M㉑　玉屋 登

開催日時：平成 30 年 5 月 19 日（土）13:00～17:00
開催場所：工学部本館 2 階　多目的会議室
参加者数：28 名

2014 年に回生・年齢を跨いだ機械クラブ全体の会員間の親睦と交流を増進するための集いとして発足した基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会」も回を重ね、今回で 6 回目となりました。

今回は、「学生時代の思い出」だけではなく、その後の「社会人生活」も含めた「学生時代と社会人生活を語る座談会」として、新規に企画・計画しました。

今回は、自由討論の時間を十分に取るという事で、出席対象の同窓生を M⑬～M㉔及び P①～P⑤の各回生 1 名程度（合計 12 名程度）に絞って調整させて頂きました。その結果、冒頭にも記載しましたが、参加者数は 28 名（対象卒業生 12 名、機械クラブ役員 2 名、座談会部会員・実行委員 14 名）となりました。（当日のスナップ写真は機械クラブホームページに掲載しているのでご覧ください。懐かしい顔にお目に掛かれるのではないかと思います。）

座談会を座談会らしく有意義に運営するために、事前に、学生時代のどのような経験が卒業後の社会人生活にどのように役立ったのか、アンケート調査をさせて頂きました。アンケート結果により、以下の 3 テーマに焦点を当て、まず、出席者の皆さんから経験談をお話して頂き、

第 6 回基幹座談会　出席者　（順不同、敬称略）

回生	氏　名	卒業研究の講座の先生
M⑭	酒井善正	川井良次，岩壺卓三
M⑮	柴富信博	進藤明夫
M⑯	乙武邦茂	速水恵次，田中隆治
M⑰	山下直樹	進藤明夫，瀬口靖幸，佐藤正明
M⑱	繁田利成	岩田一明，森脇俊道
M⑲	小嶋弘行	進藤明夫，瀬口靖幸，佐藤正明
M⑳	中野直和	木村雄吉
M㉑	西尾一生	川井良次，岩壺卓三
M㉒	村田一夫	赤川浩爾，坂口忠司，藤井照重
M㉓	池山博文	赤川浩爾，坂口忠司，藤井照重
P④	阪倉重喜	鳴瀧良之助，藤井進，小坂田宏造
M㉔	矢野澄雄	小寺 忠
機械クラブ役員代表等		
M⑱	平田明男	井上 清
M⑱	谷 民雄	赤川浩爾，坂口忠司，沢井洋征

回生	氏　名	卒業研究の講座の先生
第 6 回座談会実行委員会委員		
M⑧	坂口忠司	赤川浩爾，武藤万秋
M⑨	永島忠男	赤川浩爾，武藤万秋
M⑭	酒井善正	川井良次，岩壺卓三
M⑭	土井隆雄	中川隆夫
M⑮	堀 英教	川井良次，岩壺卓三
M⑯	大和敏郎	鳴瀧良之助，岩田一明
M⑰	常次正和	赤川浩爾，坂口忠司，沢井洋征
M⑰	八十川信介	鳴瀧良之助，岩田一明，森脇俊道
M⑲	山岡高士	進藤明夫，瀬口靖幸，佐藤正明
M⑳	中野直和	木村雄吉
M㉑	玉屋 登	岩壺卓三，瀬口靖幸
M㉒	江口 隆	川井良次
M㉓	多田幸生	進藤明夫，瀬口靖幸
P⑥	井宮敬悟	坂口忠司
M㉚	白瀬敬一	岩田一明，森脇俊道
M㊱	浅野 等	赤川浩爾，藤井照重

（後列左から）堀(M⑮)，江口(M㉒)，常次(M⑰)，多田(M㉓)，白瀬(M㉚)，山岡(M⑲)，永島(M⑨)，坂口(M⑧)，谷(M⑱)，平田(M⑱)，玉屋(M㉑)，土井(M⑭)，井宮(P⑥)，大和(M⑯)，八十川(M⑰)，浅野(M㊱)
（前列左から）村田(M㉒)，西尾(M㉑)，中野(M⑳)，矢野(M㉔)，池山(M㉓)，阪倉(P④)，山下(M⑰)，繁田(M⑱)，小嶋(M⑲)，酒井(M⑭)，柴富(M⑮)，乙武(M⑯)

第 6 回基幹座談会　集合写真

その後、参加者全員で意見交換するという形で座談会を進めました。

① 神戸大学機械工学教育【授業・実験・理論計算などの研究活動】は企業の仕事に役立ったか、または役立つか
② 神戸大学機械工学教育は企業の人づくりに役立ったか、または役立つか
③ 神戸大学機械工学教育【実験・理論計算などの研究活動】は企業におけるトラブル対応に役立ったか、または役立つか

神戸大学機械工学教育が社会人生活に大いに役立ったことなどの貴重な経験談やご意見が多数ありました。これらは、機械クラブの知的財産であり、現在活躍されている社会人の会員並びに学生にとっても傾聴に値するものでした。

なお、発表されたご意見など詳細は、機械クラブホームページをご覧ください。

座談会終了後、会場を工学振興会館に移して親睦会を開催し、出席者の皆様と、機械クラブ役員、座談会部会員一同、親しく和やかに食事とお酒で楽しみました。

遠くからご出席を頂いた今回の座談会も無事終えることが出来ました。これも一重に、ご出席くださった皆様方並びに関係各位の熱意とご尽力の賜物と感謝いたしております。ありがとうございました。

なお、これまでの座談会と同様、当日話された思い出を中心に寄稿文として当部会にお寄せ頂くよう、ご出席の皆さんにお願いしました。出席された皆様全員からのご寄稿をお待ちしております。

◆ 寄稿文：思い出の架け橋

座談会部会

座談会にご参加いただいた方々を中心に、学生時代の思い出を寄稿文としてご投稿いただいております。現在、機械クラブホームページには 20 編の寄稿文が掲載されておりますので、是非、機械クラブホームページにご訪問下さい。

◆ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG)報告

Ⅰ．第 170 回コンペ報告

平成 30 年 4 月 17 日に東条の森カントリー倶楽部・宇城コースにて開催しました。

今回は 4 月（新年度？）と言うこともあり、参加者は 6 名でした。

市橋誠様 M⑯が優勝され、準優勝は大和敏郎様 M⑯、3 位は國光秀昭 M⑱と、若手の独壇場でした。

優勝者＆ブービーのコメント

・優勝者：市橋誠様

予想していなかった優勝が舞い込んできました。これも一重に良きパートナーに恵まれ、HDCP にも助けられた結果です。次回も気分良くプレー出来れば幸いです。

・ブービー：井上理文様

良きパートナーに恵まれ、最後まで楽しくラウンドできました。残念ながら、成績はブービーでしたが、HDCP＝20 は少々厳しかったと思います。

第 170 回 KTCMG の結果概要

➢ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	市橋 誠	M⑯	110	41	69	32
2 位	大和 敏郎	M⑯	90	14	73	11
3 位	國光 秀昭	M⑱	97	23	74	20

（左から）國光(M⑱), 光田(M⑫), 松本(M⑨), 井上(M②), 大和(M⑯), 市橋(M⑯)

第 170 回ゴルフコンペ集合写真

Ⅱ．第 171 回コンペ報告

平成 30 年 7 月 10 日に東条の森カントリー倶楽部・大蔵コースにて開催しました。今回は、参加者は 8 名でした（松本氏(M⑨)は前半のみ参加)。

成松伸俊様 M⑯が優勝され、準優勝は光田芳弘様 M⑫、3 位は松場恒夫様 M⑫でした。

冨田杯の取り切り戦は成松伸俊様でした。おめでとうございます！

優勝者＆ブービーのコメント

・優勝者：成松伸俊様

天候に恵まれ、パートナーに恵まれ、何よりもハンデに恵まれて優勝することが出来ました。また、今回は同じ 16 回生である冨田杯の取り切り戦という事もあって頑張ることが出来ました。本当にありがとうございました。

・ブービー：橋本晃一様

夏風邪からの回復明けのプレーとなり、暑さに苦しみましたが、何とか 18 ホールラウンドすることができたことが収穫でした。最近になり、飛距離も目立って落ちてきているような状況ですが、健康維持を目的にプレーを続けております。次回は、ブービーからの脱却を目指し頑張ります。

第 171 回 KTCMG の結果概要

➢ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	成松 伸俊	M⑯	91	20	71	16
2 位	光田 芳弘	M⑫	94	21	73	17
3 位	松場 恒夫	M⑫	90	15	75	13

・第 172 回 KTCMG 10 月 16 日(火)

東条の森カントリー倶楽部・東条コース

(左から) 松本(M⑨), 西下(M⑫), 橋本(M⑫), 松場(M⑫), 市橋(M⑯), 大和(M⑯), 成松(M⑯), 光田(M⑫)

第 171 回ゴルフコンペ集合写真

◆ 機械クラブホームページのご案内

URL： http://home.kobe-u.com/ktcm/

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内　および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆ Ｅメールアドレス登録のお願い

ホームページの更新情報をいち早く会員の皆様にお伝えするため“メール配信システム”の運用を進めております。現在４人に１人の登録をいただいていますが、未登録の皆さまにおかれましては、機械クラブ（ktcm@kobe-u.com）までご連絡下さるようよろしくお願い申し上げます。

◆ 財務部会からのお願い

財務部会長　M⑱　副島 宗矩

今年は会費納入の お願い活動を行いますので、ご協力よろしくお願います。

年会費は 2000 円です。

複数年分（5 年分等）の納入を歓迎します。

年会費、ご寄付の納入方法①

別冊の年会費納入者名簿からゆうちょ銀行「払込取扱票」を切取り、金額の内訳、お名前、おところ等をご記入の上、ゆうちょ銀行からお振込をお願いします。ゆうちょダイレクトからも取扱票へ記載の口座番号をご利用下さい。

年会費、ご寄付の納入方法②

三井住友銀行　　普通預金　六甲支店 (421)

口座番号　1202658

口 座 名　神戸大学機械クラブ（カナ表記：コウベ゛ダ゛イカ゛クキカイクラブ）

へお振込をお願いします。

三井住友銀行をご利用される場合はお名前の直後に、卒業年または回を入れてください。

クラス会でまとめて納入頂くことも歓迎します。納入者名簿、納入方法等に不明点がありましたら、下記要領にてお問い合わせください。

◆　お問合せについてのお願い

問合せ窓口は**機械工学専攻事務室**になります。

◎ 原則 E-mail(ktcm@kobe-u.com)でお願いします。機械クラブ担当者が対応します。

◎ 電話、郵便の場合、機械クラブ担当者に取り次ぎし、後日担当者から回答することになりますのでお時間がかかります。

【機械クラブだより　第 14 号】

発行所：神戸大学機械クラブ
発行人：会長　平田 明男
発行日：2018 年 9 月 1 日
所在地：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学大学院工学研究科
機械工学専攻事務室内
Tel :　078-803-6152
E-mail : ktcm@kobe-u.com
URL :　http://home.kobe-u.com/ktcm/